

第6回 四国の港湾における 地震・津波対策検討会議 資料

(第5回会議の主な意見・指摘事項)

平成25年3月11日

四国地方整備局港湾空港部

第5回会議での主な指摘・意見事項

意見・指摘事項	対応(案)
<ul style="list-style-type: none"> 四国全体を考慮した港湾の役割、機能分担を明確すべき。 	<p>→四国広域緊急時海上輸送等検討ワーキンググループの検討において、各港湾の役割について検討している。「広域的な海上輸送の継続指針」に示し関係者で情報共有を図る方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 対策の実効性が確保されることが必要。 	<p>→アクションプログラムを着実に進めるよう、地域における検討を設置して議論を深める方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 広域的な災害が起きたときに、日本全体での支援体制をつくるべき。 	<p>→緊急物資の海上輸送に係る広域的な体制については、引き続き四国広域緊急時海上輸送等検討ワーキンググループで検討を進める予定である。</p> <p>→他地域との連携が図られるよう、検討の場を調整する方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 具体的に自分の会社が、何ができるのか、当社の役割のイメージをもてるよう、具体的に踏み込んだ対策案を示して欲しい。 	<p>→地域における検討の場において、関係機関の具体的な役割等について検討する方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 一度にこれほどの人員を運べるのは、船しかない。一方、耐震バースがないと機能しない。 	

意見・指摘事項	対応(案)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練などを実施すれば、さらに具体的な対策のイメージが持てる。 	<p>→具体的な対応の検討が一定進んだ段階で訓練の実施する方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漂流物対策についても、広域的に考えた方がいいかと思う。 	<p>→発生源の対策も含め関係者が連携して進める必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 優先順位づけは重要だが、実際の被災状況を見て弾力的に対応することも必要。 	<p>→基本的な優先順位の考え方に基づき、臨機応変の対応ができるよう、関係者調整を進める方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハードでの整備もできるところからやっていく必要がある。 ・ 事前対策の優先順位の考え方で、空間的、危険度の優先度はわかるが、時間的な優先順位と言う視点が可能であれば、入れていただきたい。 	<p>→ハード対策について、対策に要する期間と効果を踏まえつつ、推進することとして基本方針に記載した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災拠点として、重要港湾、地方港湾、漁港も含めネットワーク化考えていきたい。 	<p>→災害時の海上輸送のネットワークについては、漁港との連携を見据え検討する方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の港湾利用に即し、船社等への意見も聞くべき。 	<p>→船社等の意見について、関係者との意見の共有を図る方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波防災地域づくりに関する法律に基づく基本的な指針において、港湾の対策と整合がとれるとよい。 	<p>→地域における検討の場において、関係者間で情報共有を進めたい。</p>

意見・指摘事項	対応(案)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国地整の持つ情報について、災害時に県や市が直ちにその情報(どこの港が使えるのか等)をどのように共有できるのか。 	<p>→四国広域緊急時海上輸送等検討ワーキンググループにおいて検討した連携の枠組みで相互に情報共有が必要。さらに、体制強化できるよう、地域における検討の場で議論を深める方針。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一定のハード整備とは何か、共通認識が持てるようにする方がよい。 	<p>→基本方針に避難対策における事例を記載した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギーの供給体制が、基本方針ではサラッと書かれている印象があるため強調した方がよい。 	<p>→基本方針に追記した。。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震強化岸壁も完璧ではないので、被害を受けた時のことも、考えておいた方がよい。 	<p>→応急復旧の考え方について、四国臨海部液状化対策検討ワーキンググループで整理した。今後はこの考え方に基づいて検討を進める方針。</p>